

Nishi-Nippon Financial Holdings

DISCLOSURE 2017

平成29年度 中間ディスクロージャー誌

(2017年4月1日～2017年9月30日)



西日本FH

西日本フィナンシャルホールディングス

Content

ごあいさつ	2
西日本フィナンシャルホールディングスについて	3
2018年3月期第2四半期業績ハイライト	5
中期経営計画「飛翔2020～知恵をしぼろう～」	9
中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組み	10
CSRへの取組み	22
トピックス～新たな取組み～	25
安心に向けた取組み	26
業務運営方針	
コーポレート・ガバナンス	27
コンプライアンス（法令等遵守）への取組み	30
子会社が契約している指定紛争解決機関	31
リスク管理への取組み	32
会社概要・主要な業務内容・店舗のご案内	
西日本シティ銀行	36
長崎銀行	45
資料編	
西日本フィナンシャルホールディングス	47
西日本シティ銀行	79
長崎銀行	140

- 本資料は銀行法第21条及び第52条の29に基づいて作成したディスクロージャー誌です。
- 計数につきましては原則として単位未満を切り捨てて表示しています。



西日本フィナンシャルホールディングス 取締役社長（代表取締役）
（西日本シティ銀行 取締役頭取（代表取締役））

谷川 浩道

ごあいさつ

皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

まず、平成29年7月九州北部豪雨により被害を受けられた皆さまに、謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、平成28年10月、私たちは、グループ各社の特長・強みの発揮に向けて、グループ内の結束・連携を一層強化し、将来のさまざまな環境変化やリスクに適切に対応するため、西日本フィナンシャルホールディングス（以下、西日本FH）を頂点とした持株会社体制へと移行し、新たな経営管理態勢を構築しました。平成29年4月には、「さらなる飛躍に向けた基盤拡大に取り組み、お客さまに選ばれる地域金融グループを目指す『グループ総合金融力の進化』ステージ」をコンセプトとする中期経営計画「飛翔 2020 ～知恵をしぼろう～」を策定し、その下で、さまざまな取組みを進めています。

平成29年度の経済情勢は、世界的な景気回復の潮流の中、わが国全体として景気の回復基調が続いております。九州・福岡においても、九州北部豪雨などの自然災害には見舞われたものの、自動車・半導体関連の輸出やインバウンド需要が好調に推移し、景気は緩やかに拡大しております。特に、福岡では、天神ビッグバン、福岡空港再整備事業などの大規模な都市開発計画も一歩々々進んでおり、これらが地元経済にプラスに働いていくものと期待されます。

西日本FHは平成29年10月3日に設立一周年を迎えましたが、この間にも、西日本FHグループを取り巻く経営環境は、マイナス金利政策による超低金利環境の継続、ICTの急速な進展、銀行法等改正に伴う規制緩和などにより、大きく変化し続けています。こうした環境を力強く乗り切っていくためにも、私どもは、グループの連携を一層強め、お客さまの期待を超えるサービスを提供することにより、お客さま、地域の皆さまとともに成長する総合力NO.1の地域金融グループを目指してまいりますので、これまでにも増してご支援・ご愛顧を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成30年1月